

川内地区 地震・津波避難 支援マップ

平成27年3月版

■地震・津波避難支援マップとは

このマップ(地図)は南海トラフ巨大地震で襲来する津波に対して、**住民一人一人が安全で円滑な避難を日常的に考えるための情報**を集めたものです。災害時に使う避難マニュアル(指示書)ではありません。家庭や職場の避難マップ作りや避難訓練にお役立て下さい。マップは6ページ(3枚)で構成されています。津波の予想浸水域・浸水深、避難時の服装、非常時持出品等は『徳島市地震・津波防災マップ(H26年3月作成)』に説明されています。

■徳島市津波避難ビルと協議会津波避難ビル

徳島市津波避難ビルは、①鉄筋コンクリート造、②新耐震設計基準(昭和56年施行)適合、③24時間利用可能、を全て満足する施設で、徳島市と施設管理者の間で協定書が交わされた津波避難ビルです。協議会津波避難ビルは、上の条件全てを満足するものではありませんが、川内まちづくり協議会と川内南コミュニティ協議会が津波避難に使用できると判断して独自に管理者の協力を取りつけた津波避難ビルです。いずれも一時避難場所として階段・廊下等の共有スペースを数時間程度の避難に使う点で同じです。食料・毛布等の備蓄は指定避難所(小中学校、町民会館)を除いてありません。避難先名称(数字)は施設避難スペースの収容人数(概数)です。

夜間・休日に施錠される施設には鍵保管庫がつけられています。震度5強以上の揺れが感知されると解錠され、施設入口の鍵を取り出せます。鍵保管庫の位置は『鍵保管庫がある津波避難ビル』の写真をご覧ください。

高速道路に併設された富吉避難場所と米津避難場所の鍵は、付近の複数の住民の方が保管しており、災害時に解錠されます。

避難施設は現在も増え続けています。徳島市ホームページで確認して下さい。また諸事情でマップに載せていない施設もありますので、町内会・自主防災会にお問い合わせ下さい。

■避難路と避難方向

主要避難路は見通しが良好で閉塞の可能性が低いものと考えられるもので、最寄りの津波避難ビル等への方向を併記しています。万が一に備えて複数の避難施設を検討して下さい。主な施設には災害時に約20分で到達可能な範囲を示した円をつけてあります。近くの津波避難ビル等まで歩いて、避難路上の危険箇所、建物入口、所要時間等を確認しておきましょう。

■地盤沈下・液状化現象等の避難の障害、徒歩による避難速度

川内地区は干拓地や旧河道など軟弱地盤が多いため、地盤沈下・液状化現象が発生しやすいと考えられます。地盤沈下・液状化現象が起こると地面に砂や水が噴き出しますが、現象が終わった後は歩行できないわけではありません。ただしアスファルト舗装道路は陥没や変形の恐れがあります。また下水管やマンホール等が浮き上がる等の可能性もあります。これら以外にも、家屋やブロック塀、電柱等の倒壊、土葺きの屋根瓦の落下等も避難の障害になります。また負傷者や高齢者、幼児を介助しながらの避難になるため、徒歩による避難速度は平常時(分速80m)よりかなり低下します。東日本大震災を対象にした調査結果の平均値は分速38mでした。このマップでは避難速度を分速35m(平成5年の北海道南西沖地震における60歳以上の避難速度)と想定して、主な津波避難ビル等に20分程度で避難できる半径500m円を描いています。700mでない理由は、実際の避難路が折れ曲がっていて、津波避難ビル等までの距離が長くなっていることを考慮しているためです。

■地盤標高と津波の高さ

地図に示した地盤標高は東京湾平均海面(T.P.)の高さを基準とした海拔です。徳島県が公表する津波高さの予測値(例えばマリニピア東端で5.0m)は、朔望平均満潮位*+0.876m(徳島・小松島)を加えて計算したT.P.上の高さです。

※朔望平均満潮位: 新月および満月の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値のこと

製作: 川内まちづくり協議会/川内南コミュニティ協議会/
川内町自主防災組織連絡協議会/徳島大学環境防災研究センター/徳島市
(問合せ先: 川内まちづくり協議会 088-665-1712)

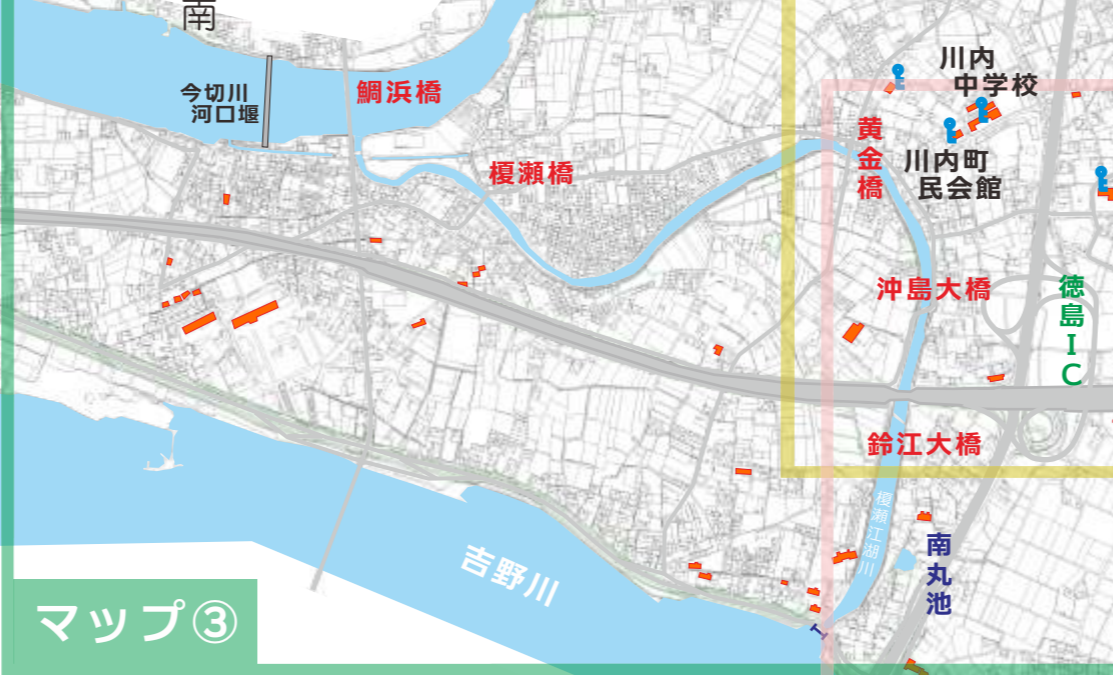
マップ①



マップ②



マップ③



マップ④



マップ⑤



平成27年3月現在、鍵保管庫(🔑)が取り付けられている津波避難ビル等が9箇所あります。かぎ保管庫には、①建物入口の鍵、②懐中電灯、③ボールのほか、建物内部の平面図が入っています。

東亜合成緑地の地盤高は5m程度と高いですが、遡上する津波を真正面から受け止める位置にあり、浸水の可能性が高いので避難場所には適しません。

今切川を遡上する津波は複雑な反射を繰り返して、高くなる可能性があります。

徳島市マリニピア東端では地震発生41分後に津波が到達(20cmの水位上昇)し、53分後には津波の高さが最大(5.0m)になると予想されています。

津波
到達時間 53分
最大高さ 5.0m
(マリニピア東端)

想定されている南海トラフ巨大地震に伴う津波によって、川内地区は全域が浸水すると予想されています。浸水深は地盤高が低い所で5m、高い所で1m程度と予想されています。詳細は『徳島市地震・津波防災マップ』(平成26年3月作成)をご覧ください。

徳島市地震・津波防災マップ
平成26年3月作成

[全体マップ]

1000m 0m